

小川 聡美さん (光中三年)

税の作文で金賞に輝く

今年も「税を知る週間」で銚子税務署管内納税貯蓄組合連合会では、管内の中学生から作文を募集、光町から応募した作品のうち、三年、小川聡美さんの作品が金賞になりましたので、紹介します。



小川聡美さん

三年 小川 聡美

去年の七月のある日、学校から帰ったら車椅子が私の家になりました。すぐにおじいちゃんが使うのだな。とわかりました。「今日、車椅子が届いたよ。本当は九万円以上するらしいけど二万一千円でよかったよ。配達してくれた人が、お宅は税金を沢山払っているから、

他の人より支払う額が多いって言っていたよ。」祖母が勤めから帰ってきたばかりの母に報告してしまいました。

私は不思議でした。どうして九万円もする車椅子が二万一千円支払えばよくなって、それでも他の人より多く払っていることになるのかな。「お母さん、どうして九万円もするのが、二万一千円になるの?」

「おじいちゃんは、病気で体が自由に動かないから、そういう人は役場の福祉係というところで手続きをすれば、安く買えるんだよ。」

「じゃ、車椅子を売っている人が損しちゃうじゃない。」「損する分は、役場で払ってくれるから、車椅子を売っている人は大丈夫なんだよ。」

「どうして役場で払ってくれるの? そのお金はどこからくるの?」「それは、おじいちゃんが元

気なときに納めていたでしょ。そしてお父さんやお母さんだつて税金を納めているでしょ。みんなが納めた税金の一部分が体の不自由な人を助けるための費用として、国や県、町

の予算の中に組まれるんだよ。」そうなのか。税金って取られるものばかり思っていた私は、税金ってありがたいんだな。と思いました。でも、もうひとつ納得できないことがありました。車椅子を配達した

人が「お宅は税金を沢山払っているから、他の人より支払う額が多い。」と言っていたそうだけど、税金を多く払って

いけば、逆にもっと安くしてくれる、逆にもっと安くして

「お母さん、どうして税金を多く払うと、他の人より安くならないの? おかしいじゃない。」

に税金から補助が多く出るんだよ。収入の多くある人は、補助が少なくてわけなんだよ。」

「税金って収入のあまりない人や、体の弱い人に使われるのか。」

「それだけじゃないでしょ。よく考えてごらん。」

「税金って収入のあまりない人や、体の弱い人に使われるのか。」

つそこに行っています。センターの車が家の玄関まで送り迎えしてくれて、とても親切にしてくれるそうです。センターでは、健康管理やりハビ

リや、趣味などもさせてくれて、今までより、ハツラツと生活するようになりました。母や祖母は、二言目には、

「ありがたい、ありがたい。」と言っています。税金というのは、とられるもので、迷惑なものだとばかり思っていたけれど、本当は毎日私達が生活するのに絶対に欠かせないことに使われていること、そして不幸にあった時に、とても助けになるものだということがわかりました。税金は世界中の人が幸せに暮らすための会費なのだと思います。

税金の滞納は ありませんか?

ことしも残り少なくなりましたが、忙しさからつい納税を忘れていた。という方はいませんか。

今月は町県民税四期分、

国民健康保険税六期分の納期です。また、年末は一年の総決算ともいえますので、この機会に滞納税金を一掃したいものです。自主納税で明るい新年を迎えましょう。